

長岡京左京三条三坊九町跡  
発掘調査報告書

2023年

特定非営利活動法人平安京調査会

# 例 言

- 1 本書は、京都市伏見区久我西出町3番地12・13・150で実施した、長岡京左京三条三坊九町跡発掘調査成果報告書である。(京都市番号 22NG495)
- 2 調査は、工場の建設に伴い実施した。
- 3 現地調査は、株式会社日豊製作所より特定非営利活動法人平安京調査会(以下、「平安京調査会」という)に委託され、辻 純一・吉崎 伸が担当した。
- 4 調査期間は令和5年7月17日～令和5年8月4日である。
- 5 調査面積は254㎡である。
- 6 本文・図中で使用した地図は、京都市発行の都市計画基本図(縮尺1:2,500)「久我」を調整して作成した。
- 7 本文・図中の方位・座標は世界測地系による。標高はT.P.(東京湾平均海面高度)である。
- 8 土層名および出土遺物の色調は、農林水産省水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』に準じた。
- 9 本書の執筆・編集は辻が行った。
- 10 現地での記録写真撮影は吉崎 伸が行い、出土遺物の撮影は九鬼みずほが行った。
- 11 調査に係る資料は京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課が保管している。
- 12 発掘調査および整理作業の参加者は、下記の通りである。  
〔発掘調査〕辻 純一・吉崎 伸(平安京調査会)  
作業員 岸波敏明・坪内孝二・川名貴樹  
〔整理作業〕株式会社コンピュータ・システム
- 13 出土遺物の年代観は、平尾政幸「土師器再考」『洛史 研究紀要 第12号』公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2019年
- 14 現地調査、整理作業において、下記の方から御教示、御指導をいただいた。記して感謝いたします。

(敬称略)

國下多美樹(龍谷大学)、南 孝雄(公財・京都市埋蔵文化財研究所)

# 目 次

|         |            |    |
|---------|------------|----|
| 第 I 章   | 調査の経緯      | 1  |
| 1       | 調査に至る経緯    | 1  |
| 2       | 調査経過       | 1  |
| 第 II 章  | 位置と環境      | 4  |
| 1       | 位置と環境      | 4  |
| 2       | 既往調査       | 4  |
| 第 III 章 | 遺構         | 6  |
| 1       | 基本層序       | 6  |
| 2       | 遺構         | 7  |
| 3       | 長岡京期の遺構    | 7  |
| 4       | 中世の遺構      | 7  |
| 第 IV 章  | 遺物         | 10 |
| 1       | 遺物概要       | 10 |
| 2       | 長岡京期の遺物    | 10 |
| 3       | 中世および近世の遺物 | 10 |
| 第 V 章   | まとめ        | 11 |

# 図 版 目 次

|      |    |                           |
|------|----|---------------------------|
| 図版 1 | 遺構 | 1. 第 1 面全景(南から ドローン撮影による) |
|      |    | 2. 第 1 面全景(北から)           |
| 図版 2 | 遺構 | 1. 溝 8 (東三坊坊間東小路西側溝 南から)  |
|      |    | 2. 溝 8 断面(南から)            |

- 図版3 遺構 1. 土坑1(北から)  
2. 土坑2(南から)  
3. 土坑2遺物出土状況  
4. 土坑2断面(南から)  
5. 溝3断面(南から)  
6. 溝7断面(南から)
- 図版4 遺物 1. 長岡京期出土遺物(溝8)  
2. 中世出土遺物(溝3など)

## 挿 図 目 次

|    |                       |   |
|----|-----------------------|---|
| 図1 | 調査位置図(1:5,000) .....  | 1 |
| 図2 | 調査区配置図(1:1,000) ..... | 4 |
| 図3 | 調査区断面図(1:100) .....   | 6 |
| 図4 | 調査区平面図(1:120) .....   | 8 |

## 表 目 次

|    |             |    |
|----|-------------|----|
| 表1 | 遺構概要表 ..... | 9  |
| 表2 | 遺物概要表 ..... | 10 |

# 第 I 章 調査の経緯

## 1. 調査に至る経緯

調査地点は、長岡京左京三条三坊九町と東三坊坊間東小路に相当する。当該地に日豊製作所建設工事が計画され、京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課（以下「文化財保護課」という。）により対象地内で試掘調査が実施された。試掘調査の結果、東三坊坊間東小路西側溝に相当する溝が検出された。それら試掘調査成果を基に、文化財保護課の指導により特定非営利活動法人平安京調査会（以下「平安京調査会」という。）が発掘調査を実施することになった。長岡京跡における調査次数は、左京 681 次調査である。調査対象地の現況は、耕作土層がそのままになった更地である。

## 2. 調査経過

調査地点は、長岡京の北東部に位置し、周辺ではいくつかの発掘調査が実施されている。このうち、当地の南隣とその直ぐ南側で行った調査では東三坊坊間東小路が検出されている。本調査地で文化財保護課の試掘調査により検出された南北方向の溝が、この同小路の西側溝延長に相当する。従って、長岡京の条坊路の検出例を新たに提示できることで、東三坊坊間東小路西側溝の検出を今回の主たる調査目的とした。

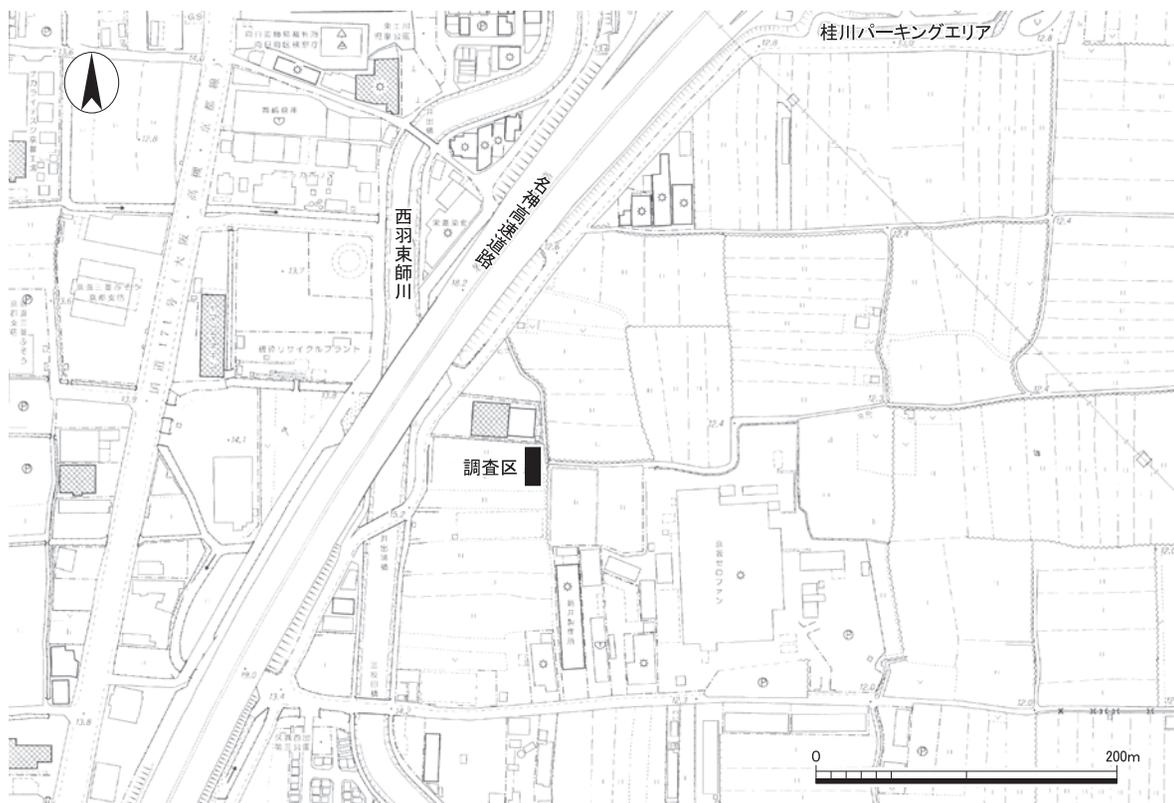


図 1 調査位置図(1 : 5,000)

発掘調査は令和5年7月17日から開始した。まず、調査区設定のための草刈りや現場施設の設置、調査機材の搬入などを行った。午後から文化財保護課の調査範囲確認を終えた。翌18日より重機による掘削を開始し、その後、人力による調査を進めた。調査の進捗に従い、検出遺構ならびに平面実測・断面実測などを記録した。写真撮影については、7月28日に調査区全景写真撮影と共に個別近景写真撮影を行った。また、調査の過程についても必要に応じ写真撮影を行い記録した。調査完掘時には検証審査員である龍谷大学教授・國下多美樹氏に調査説明を行うと共に指導を受けた。その後、西及び南壁を断割し、断面オルソ用の撮影後、重機による埋め戻しを行い、令和5年8月4日にすべての調査を終了した。

発掘調査の進捗に従い、文化財保護課による指導を受けた。調査開始直後の7月17日の調査区域確認を始め、調査の進展に伴い8月2日には調査成果の確認と指導を受けた。



1. 調査前



2. 1区重機掘削作業



3. 遺構掘削作業



4. 文化財保護課検証



5. 検証審査員の検証



6. ドローンによる撮影および3D測量



7. 断割り作業



8. 調査完了埋戻し後

## 第Ⅱ章 位置と環境

### 1. 位置と環境

調査地点は長岡京の北東に位置する低湿地帯で、近年まで水田地帯であり、調査地西側には西羽東師川が南流している。調査地周辺ではいくつかの発掘調査などが実施されている。

特に調査地点の直ぐ南側では工場建設に伴う発掘調査が2カ所で南北に隣接し2012・2014年に実施されている

### 2. 既往調査

2カ所の調査地は長岡京左京三条三坊十町に当たる。2カ所の調査の北側に当たる2012年に

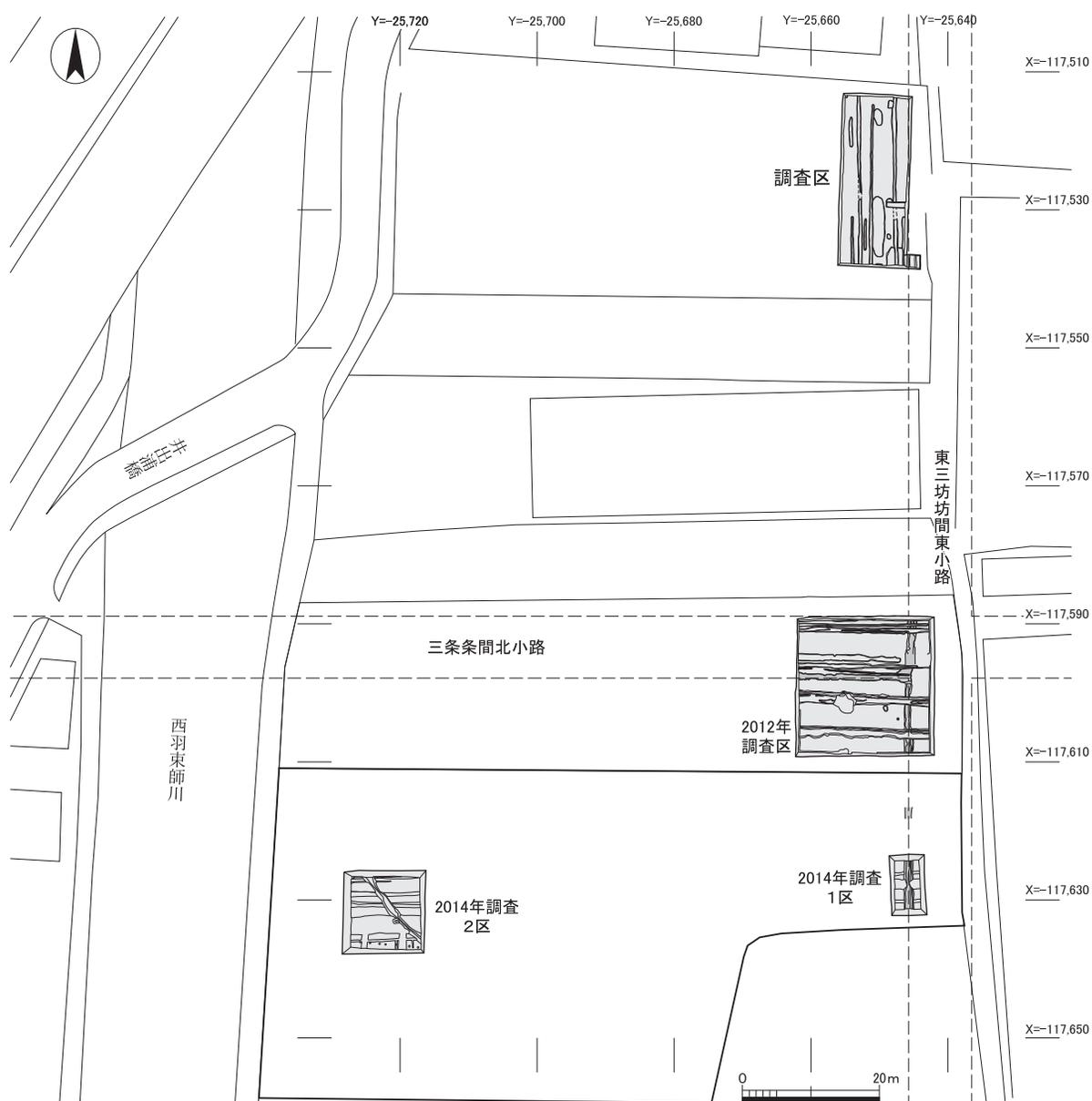


図2 調査区配置図(1:1,000)

実施した左京 554 次調査(注1)の成果については長岡京期の東三坊坊間東小路・三条条間北小路・土坑・中世耕作溝などを検出している。特に東三坊坊間東小路西側溝と三条条間北小路南側溝の交差部が検出され、東三坊坊間東小路西側溝は三条条間北小路を貫いて南流するが、三条条間北小路南側溝は西側溝に行き止まり、東三坊坊間東小路を貫かない交差点であった。また、交差点部で祭祀に用いられた土馬や祭祀用土師器鉢などが出土しており、穢れを流す交差点部の水辺の祭祀跡として注目される。

2014 年に実施された左京 571 次調査(注2)は左京 554 調査の南に接する敷地で調査範囲には鶏冠井清水遺跡をも含むものであった。調査成果については東三坊坊間東小路西側溝・溝・土坑・中世耕作溝などを検出している。長岡京期以前の遺構については鶏冠井清水遺跡の範囲に該当するものであった。東三坊坊間東小路西側溝については左京 554 次調査と同様の規模で出土した遺物にも人形や錢貨(和同開珎)があり、祭祀に関わる遺物の出土も同様であった。

注1 『長岡京左京三条三坊十町跡・鶏冠井清水遺跡』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2012-19  
財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2013年

注2 『長岡京左京三条三坊十町跡・鶏冠井清水遺跡』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2014-3  
公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2014年

# 第三章 遺構

## 1. 基本層序

調査区の全体的な基本層序は近現代の耕作土層が厚さ約 0.2m その床土約 0.1m、近世の耕作土が 2 層約 0.1 m ずつありその床土が 0.1m ある。その床土の下層に 5Y5/2 灰オリーブ砂泥(地山)層があり、この層上面で中世及び長岡京期の遺構が成立している。溝 8 以東には近世耕作土床土下に 5Y5/1 灰色粘質土層がある。路面を形成するものであるのか、整地土であるのかは調査区外となるので不明だが溝 8 以東にしか存在しないので、道路施工時に関連するものと思われる。地山層は下部に行くほど粘質度が強くなっている。

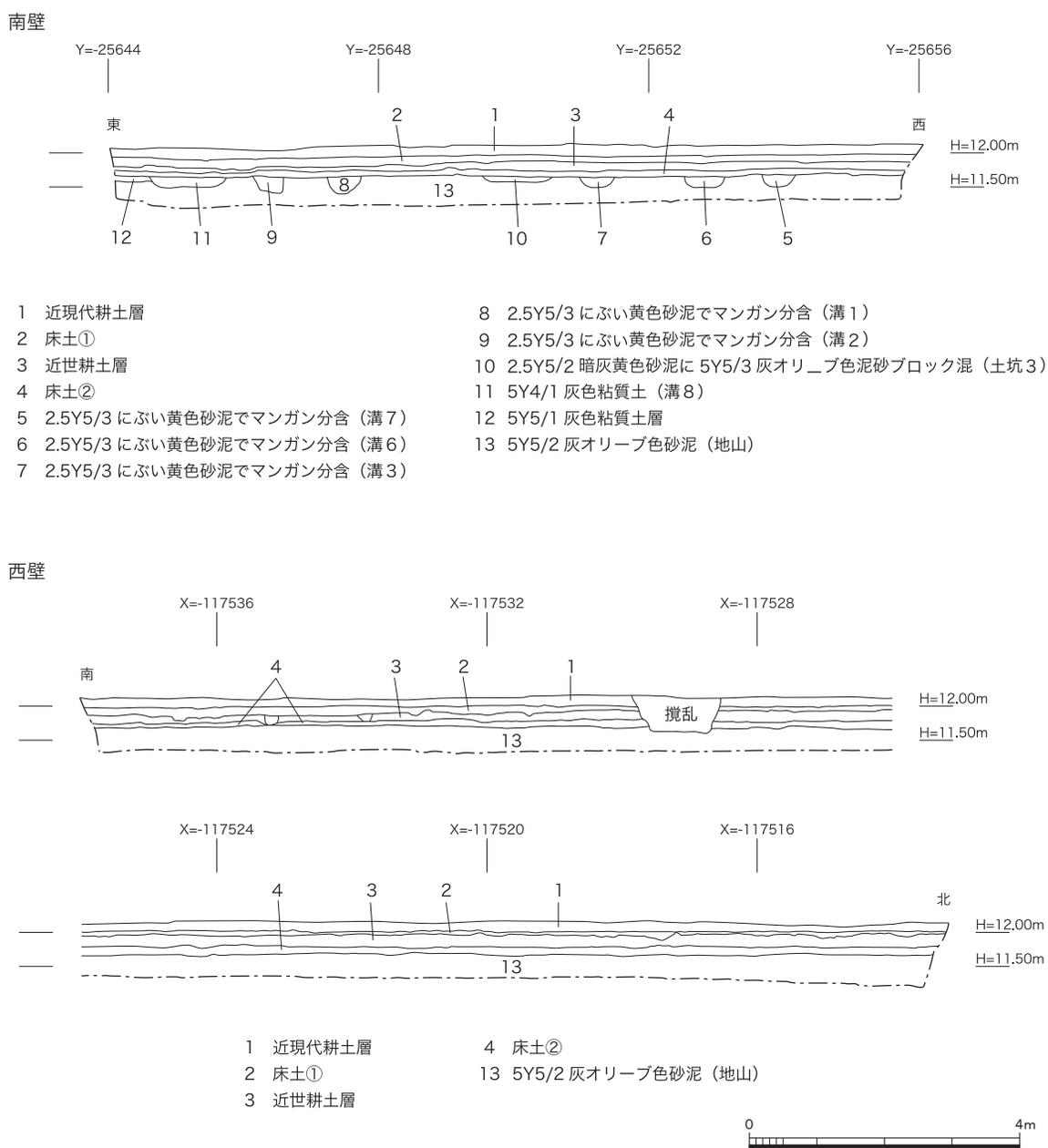


図3 調査区断面図(1:100)

## 2. 遺構

遺構は5Y5/2 灰オリーブ色砂泥層（地山）上面で検出した。遺構総数は12基であり、長岡京期と考えられる遺構は5基、中世の遺構は7基であった。

## 3. 長岡京期の遺構

長岡京期と考えられる遺構には東三坊坊間東小路西側溝、土坑4基がある。

溝8（東三坊坊間東小路西側溝）調査区東南隅を東に2.3m、北に2.3m分拡張し南北方向を示す溝8を検出した。溝の幅は東西約1.0mで深さ0.15mを南北約2.0m検出した。南北方向に調査区外へ延びると想定される。埋土は5Y4/1 灰色粘質土で、溝の東肩口以東が路面となる。座標値的に既調査で検出されている東三坊坊間東小路の西側溝と同位置であることから東三坊坊間東小路西側溝とした。検出溝芯の座標値はX=-117537.00mでY=-25645.26mである。

土坑1 調査区北端付近のY座標が-25650.40mを中心として東西約1.2m、南北約2.4mの楕円形に近い形状で深さ約0.1m、埋土は2.5Y5/2 暗灰黄色砂泥に5Y5/3 灰オリーブ色泥砂ブロック混である。

土坑2 調査区南で、これもY座標が-25650.40mを中心として東西約2.0m、南北約8.5mの長細い形状で深さ約0.1m、埋土は2.5Y5/2 暗灰黄色砂泥に5Y5/3 灰オリーブ色泥砂ブロック混である。

土坑3 調査区南端のY座標が-25650.40mを中心として検出面で東西約1.2m、南北約0.4mを確認、深さ約0.1m、埋土は2.5Y5/2 暗灰黄色砂泥に5Y5/3 灰オリーブ色泥砂ブロック混である。南壁にも埋土が確認できることから調査区外の南へ延びると思われる。

土坑4 土坑2の東0.5mにあり、東西幅0.5m、南北幅0.7mの楕円形に近い形状である。深さ0.7mで埋土は5Y4/1 灰色砂泥に2.5Y5/2 暗灰黄色泥土ブロック混である。植栽痕と思われる。

土坑1～3はいずれもY=-25650.40m上に点々と並び埋土が同じであること、溝8の西肩口から西に約3.3mにあることから左京三条三坊九町の東を限る宅地内溝とも考えられる。

## 4. 中世の遺構

中世の遺構には溝7基がある。溝の全ては南北方向のものであるが、座標北に対して若干北で西に振れるもの（溝1・2・5・6・7）とほぼ座標北方向のもの（溝3・4）とがある。

溝1は調査区の東側、Y座標の-25648.00m線上にやや北を西に振る方位を持つ。調査区南北に貫通している。溝幅は約0.6m、深さ約0.3mで埋土は2.5Y5/3 にぶい黄色砂泥でマンガン分を多く含んでいる。

溝2は調査区東端、溝1の東肩口から東に0.5mで調査区南端から北に7m分検出した。調査区外南に延びると思われる。溝幅は約0.5m、深さ約0.2mで埋土は2.5Y5/3 にぶい黄色砂泥でマンガン分を多く含んでいる。

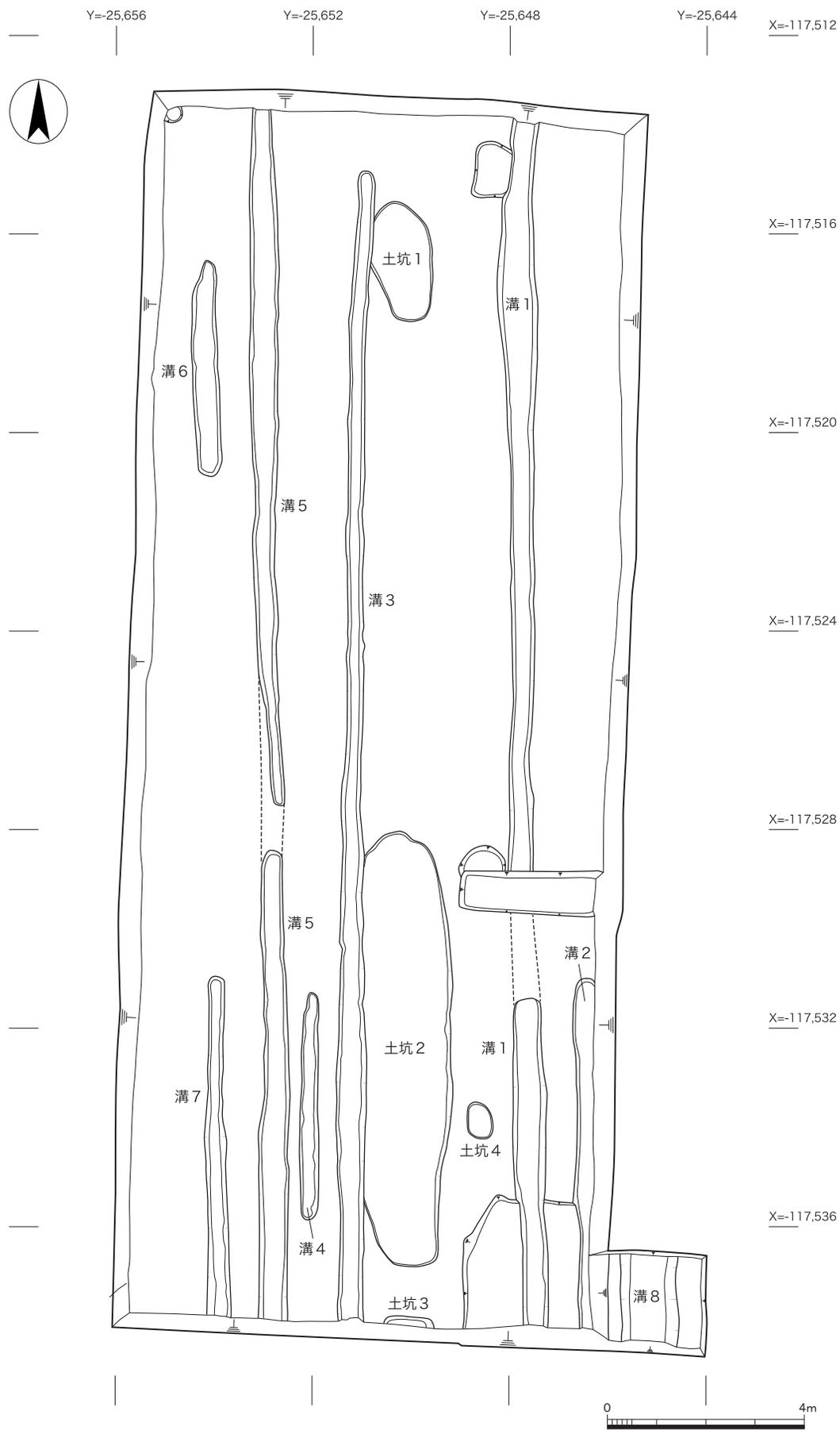


图4 调查区平面图(1:120)

溝3は調査区中央を南北にほぼ貫通し北壁付近で途切れる。ほぼ座標北と合う方位を示す。溝幅は約0.5m、深さ0.3mで埋土は2.5Y5/3にぶい黄色砂泥でマンガン分を多く含んでいる。

溝4は溝3の西0.4mで南壁より北2mから北へ4.5m分検出した。溝3と同様にほぼ座標北と合う方位を示す。溝幅は約0.4m、深さ0.2mで埋土は2.5Y5/3にぶい黄色砂泥でマンガン分を多く含んでいる。

溝5は溝2の西5.0mで検出した。ほぼ調査区を貫通するが中央部で一旦途絶えている。北・南に溝としては分かれるが方位が一致していることから両方合わせて溝5とした。溝2と同様に座標北で少し西に振れる方位を示す。溝幅は約0.5m、深さ0.2mで埋土は2.5Y5/3にぶい黄色砂泥でマンガン分を多く含んでいる。

溝6は溝5の西0.5mで北壁より南3.0mから南へ4.0m分検出した。溝5と平行した方位を示す。溝幅は約0.5m、深さ0.2mで埋土は2.5Y5/3にぶい黄色砂泥でマンガン分を多く含んでいる。

溝7は溝5の西0.5mで南壁から北へ6.7m分検出した。溝5と平行した方位を示す。溝幅は約0.4m、深さ0.2mで埋土は2.5Y5/3にぶい黄色砂泥でマンガン分を多く含んでいる。

出土遺物が非常に少ないが瓦器を含む中世の遺物が出土した。

表1 遺構概要表

| 時代   | 遺構                    | 概要 |
|------|-----------------------|----|
| 長岡京期 | 溝8（東三坊坊間東小路西側溝）・土坑1～3 |    |
| 中世   | 溝1～7（耕作溝）             |    |

## 第IV章 遺物

### 1. 遺物概要

遺物は、遺物コンテナで1箱出土した。その内容は土師器・瓦・瓦器・磁器・陶器がある。時代別では長岡京期、中世、近世のものがある。ただし、どれも小片であり実測可能なものがほとんどない状況である。

### 2. 長岡京期の遺物

長岡京期の遺物は土師器・須恵器・瓦・鉄片があるが小片のみである。土師器は東三坊坊間東小路西側溝から出土した。皿と思われる。

### 3. 中世および近世の遺物

中世の遺物は瓦器が多く、椀・鍋・三脚付き羽釜などがある。その他では土師器・白磁・青磁の小片がある。耕作溝及び遺構検出中に出土した。

近世の遺物は拡張区を手掘りで行った際に旧耕土から出土している。棧瓦や陶器などが出土した。

表2 遺物概要表

| 時代     | 内容           | コンテナ箱数 | Aランク数           | Bランク数 | Cランク数 |
|--------|--------------|--------|-----------------|-------|-------|
| 長岡京期以前 | 石器剥離片        |        |                 |       |       |
| 長岡京期   | 土師器、須恵器・瓦・鉄片 |        | 土師器5点、鉄片4点、瓦2点  |       |       |
| 中世     | 土師器・瓦器・白磁・青磁 |        | 土師器1点、瓦器3点、陶器1点 |       |       |
| 近世     | 土師器・陶器・染付・棧瓦 |        |                 |       |       |
| 合計     |              | 2箱     | 16点(1箱)         |       | 1箱    |

\* コンテナ箱数の合計は遺物整理後、Aクラス抽出のため出土時より1箱増えている。

## 第V章 まとめ

以上、今回の発掘調査における調査成果を示した。調査では東三坊坊間東小路西側溝と長岡京左京三条三坊九町宅地内の東を限ると思われる溝を検出した以外には中世の耕作に伴う溝しか遺構はなかった。

東三坊坊間東小路については調査地南側の長岡京左京 554・571 次調査でも確認されており、本調査の九町に近い座標成果 (X=-117590.00m で Y=-25645.25m) から矛盾のない位置で出土している。ただし、東西 2.3m、南北 2.3 m と小さな拡張区での検出なので、詳細なことは不明でその範囲内では溝幅が約 1.0m、溝芯の座標値は X=-117537.00m で Y=-25645.26m である。この地域では南北条坊路が計画的に敷設されたことの補強をしたことになる。

中世の耕作溝については南北方向の 7 条の溝を検出した。それらは一定の間隔であることが読み取れるが、方位的には 2 つに分けることができそうだが、時期的な差があるのかどうかは溝同士での切りあいがなく、遺物も極端に少ないことから明確なことは言えない。ただ、少ない遺物からも中世に属するものであることに変わりなく、これらも周辺調査例からの矛盾はない。

また、一番古そうなものは 13 世紀に属する鎌倉時代前半のものが見受けられることも長岡京内での多くの調査例からも知れる。

長岡京が平安京に遷都され、直ぐに耕地化が始まったのではなく、約 400 年後の鎌倉時代に入ってから耕作化が始まったといえそうである。長岡京遷都の理由の一つに水問題があり、その乾燥化が進んだ 13 世紀に入ってから一気に耕作化が進展したと考えられる。

長岡京についてはあまり遷都後の議論がなされていないが中世集落の進展と耕地化の進展は軌を一にしているはずであり、長岡京遷都後の自然環境や土地利用の様相を知ることも今後の重要なテーマだと思われる。



# 版 图





1. 第1面全景（南から ドローン撮影による）



2. 第1面全景（北から）



1. 溝8 (東三坊坊間東小路西側溝 南から)



2. 溝8断面 (南から)



1. 土坑1 (北から)



2. 土坑2 (南から)



3. 土坑2 遺物出土状況



4. 土坑2 断面 (南から)



5. 溝3 断面 (南から)



6. 溝7 断面 (南から)



1. 長岡京期出土遺物（溝8）



2. 中世出土遺物（溝3など）

## 報告書抄録

| ふりがな   | ながおかきょうさきょうさんじょうさんぼうきゅうちょうあととはつかつちょうさほうこくしょ                   |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
|--|---|---------------|------|-------------------|------------------------|--------------------------------------|------|------|
| 書 籍  | 長岡京左京三条三坊九町跡発掘調査報告書   |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
| シリーズ名  | 特定非営利活動法人平安京調査会発掘調査報告書  |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
| シリーズ番号   | 第 1 集   |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
| 編著者名   | 辻 純一  |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
| 編集機関   | 特定非営利活動法人平安京調査会   |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
| 所在地  | 〒603-8042 京都市上賀茂狭間町9番地3号                                      |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
| 発行所  | 特定非営利活動法人平安京調査会   |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
| 発行年月日  | 2023年11月30日   |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
| 所収遺跡名  | 所 在 地   | コード           |      | 北緯                | 東経                     | 調査期間                                 | 調査面積 | 調査原因 |
|  |   | 市町村           | 遺跡番号 |                   |                        |                                      |      |      |
| ながおかきょうさきょうさんじょう<br>長岡京左京三条<br>さんぼうきゅうちょうあと<br>三坊九町跡 | きょうとしふしみく<br>京都市伏見区<br>こがにしでちやう<br>久我西出町<br>3番地 12・13・<br>150 | 26100         | 3    | 34度<br>56分<br>25秒 | 135度<br>43分<br>09秒     | 2023年<br>7月17日<br>～<br>2023年<br>8月4日 | 254㎡ | 工場建設 |
| 所収遺跡名  | 種別  | 主な時代          | 主な遺構 | 主な遺物              | 特記事項                   |                                      |      |      |
| 長岡京左京三条<br>三坊九町跡                                     | 都城跡   | 室町時代<br>～鎌倉時代 | 耕作溝  | 土師器・瓦器<br>・白磁・青磁  | 長岡京の東三坊坊間東<br>小路西側溝の検出 |                                      |      |      |
|  |   | 長岡京期          | 溝・土坑 | 土師器・須恵器<br>・瓦・鉄片  |                        |                                      |      |      |
|  |   |               |      |                   |                        |                                      |      |      |
|  |   |               |      |                   |                        |                                      |      |      |

## 長岡京左京三条三坊九町跡 発掘調査報告書

編集・発行 特定非営利活動法人平安京調査会  
〒 603-8042 京都市北区上賀茂狭間町9番地3号  
TEL 075-334-5680  
<https://heiankyo-tyousakai.com/index.html>  
コンピューター・システム株式会社  
〒 602-8453 京都市上京区笹屋町4丁目 273 番3  
TEL 075-462-5411  
<http://www.comsys-kk.co.jp>

発行日 2023年11月30日